

◆進級・卒業要件◆

本学部では進級および卒業するための要件を設けています。
下位年次から計画的に単位を修得しておくことが重要です。

進級・卒業に必要な単位数とGPA

区 分			2 年 次 進級要件	3 年 次 進級要件	4 年 次 進級要件	卒業要件	
専 門 科 目	必 修 科 目	演 習 ・ 卒業研究	「基礎演習」 「専門基礎演習」	「基礎演習」 「専門基礎演習」 「専門演習Ⅰa」 「専門演習Ⅰb」	「基礎演習」 「専門基礎演習」 「専門演習Ⅰa」 「専門演習Ⅰb」 「専門演習Ⅱa」 「専門演習Ⅱb」 を含む 66 単位以上	32 単位	
	選 択 必 修 科 目	自 コース				(注1) 4 単位	(注2) 自コースの 科目群 18 単位 以上を含む 56 単位 以上
	選択科目						
教 養 科 目	必 修 科 目	英語系、 情報系、 日本語系			(注3) 英語系 4 単位	(注3) 7 単位	
	選 択 科 目	人文科学系、 社会科学系、 キャリアデザイン系、 自然・科学技術系、 外国語系、 スポーツ系、 日本語系、 地域志向系、 共通基礎系、 教養特別系				29 単位 以上	
必要修得単位数			上記の科目を含め 26 単位以上	上記の科目を含め 60 単位以上	上記の科目を含め 100 単位以上	(注4) 124 単位	
入学時からの 累積 GPA 値			—	—	—	1.3 以上	

■注1 「自コース選択必修科目」については、つぎのとおりです。

《コース必修科目》2 単位 / 《コース選択必修科目》2 単位

マネジメントコース：「経営管理論」/「経営戦略論」「中小企業論」「マネジメント特講 A、B、C」

経営情報コース：「経営情報システムⅠ」/「コンピュータデータ分析」「経営情報演習 A、B、C」「ビジネスシミュレーション」

マーケティングコース：「マーケティング戦略論」/「マーケティング演習 A、B、C」「調査実践演習Ⅰ、Ⅱ」

会計・ファイナンスコース：「財務会計論Ⅰ」/「管理会計論Ⅰ」「会計情報分析論」「会計ファイナンス特講 A、B、C」

■注2 「自コースの科目群」については、つぎのとおりです。

マネジメントコース：マネジメント群のすべての科目、および応用実践科目群の「マネジメント特講 A、B、C」

経営情報コース：経営情報群のすべての科目、および応用実践科目群の「経営情報演習 A、B、C」「ビジネスシミュレーション」

マーケティングコース：マーケティング群のすべての科目、および応用実践科目群の「マーケティング演習 A、B、C」

「調査実践演習Ⅰ、Ⅱ」

会計・ファイナンスコース：会計・ファイナンス群のすべての科目、および応用実践科目群の「会計ファイナンス特講 A、B、C」

■注3 外国人留学生については、外国人留学生対象の授業科目（「日本事情Ⅰ」「日本事情Ⅱ」を除く）の修得単位のうち、
4 単位までを英語系の単位に代えることができます。

■注4 「職業指導Ⅰ」「職業指導Ⅱ」、教職課程における「各教科の指導法」、「教育の基礎的理解に関する科目、道徳、総合的な学習の時間等の指導法および生徒指導、教育相談等に関する科目および教育実践に関する科目」、「大学が独自に設定する科目」の修得単位は、進級・卒業に必要な単位数・GPA に算入することはできません。

◆GPA 制度について◆

本学部では、GPA 制度を導入しています。

GPA とは、「成績の評語」に対応する数値として、「GP (Grade Point)」を付与し、履修した授業科目の GP に単位数を乗じた値の総和に対して、同授業科目の単位あたりの平均を算出した値のことです。これは各科目の成績平均値「GPA (Grade Point Average)」を用いて、単位数という学修の量だけではなく、成績評価に基づく質を重んじた学修をしてもらおうという制度です。

GPA は、各学生の指導担当教員が履修指導を行う際の指標として活用するほか、卒業要件に GPA 1.3 以上であることが含まれています。履修申請した科目のうち不合格科目が多くある場合、GPA を下げることになりますので、計画的に履修登録し、履修放棄などは避けて、履修登録した科目は最後まで受講するか、履修辞退制度を活用することが重要です。

成績の評語と GP の対応表および GPA 計算式は次のとおりです。成績の標語は入学年度により異なります。

成績	評語	GP (グレードポイント)	合否
認定	T		認定
100 点～90 点	S	4	合格
89 点～80 点	A	3	
79 点～70 点	B	2	
69 点～60 点	C	1	
59 点～40 点	D	0	不合格
39 点～0 点	E		
評価不能	*		

$$GPA = \frac{(4 \times S \text{ の修得単位数}) + (3 \times A \text{ の修得単位数}) + (2 \times B \text{ の修得単位数}) + (1 \times C \text{ の修得単位数})}{\text{履修した授業科目の単位数の総和 (不合格科目の単位数含む・履修辞退科目の単位数は含めない)}}$$

◆単位修得状況欄の確認方法について◆

単位修得状況欄については【略称】で表記されます。
下表の正式名称を参照し、進級・卒業要件の確認にご活用ください。

成績用科目分類（略称）	成績用科目分類（正式名称）
判定対象	判定対象科目
専門	◆専門◆
必修	《必修》
選択必修	《選択必修》
コース必	【コース必修】
コース選	【コース選択必修】
選択	《選択》
基礎群	【専門基礎科目群】
マネジ群	【マネジメント群】
経営情群	【経営情報群】
マーケ群	【マーケティング群】
会計群	【会計ファイナンス群】
応用群	【応用・実践科目群】
法律群	【法律科目群】
資格認定	【資格認定】
教養	◆教養◆
必修	《必修》
選択	《選択》
資格認定	《資格認定を含む選択科目》
留学生等	《外国人留学生・帰国学生対象科目》
他学部	《他学部・他学科》
高大接続	《高大接続科目》
対象外	判定対象外科目

■問い合わせ先 教 務 課 072-800-1033/ 072-839-9106

◆進級・卒業要件◆

本学部では進級および卒業するための要件を設けています。
下位年次から計画的に単位を修得しておくことが重要です。

進級・卒業に必要な単位数とGPA

区 分		2 年 次 進級要件	3 年 次 進級要件	4 年 次 進級要件			卒業要件	
専 門 科 目	必修科目	「基礎演習」 「専門基礎演習」	「基礎演習」 「専門基礎演習」 「専門演習Ⅰ」	「基礎演習」 「専門基礎演習」 「専門演習Ⅰ」 「専門演習Ⅱ」を含む 66 単位以上			28 単位	
	選択科目						(注 1) 所属コースの科目群 14 単位以上、他コース の科目群各 2 単位以上を 含む 58 単位以上	
教 養 科 目	英語系、 外国語系			(注 2) 選択必修科目 4 単位以上を 含む 8 単位以上	(注 2) 12 単位 以上	※左記進級要件を含む合計 34 単位以上	(注 2) 12 単位以上	※左記卒業要件を含む合計 38 単位以上
	日本語系、 数理・情報系、 スポーツ系							
	人文科学系、 社会科学系、 自然・科学技術系、 地域志向系、共通基 礎系、教養特別系			人文科学系・社会科学系・ 自然・科学技術系 各 2 単位以上を含む 18 単位以上				
	キャリア デザイン系		「キャリアデザインⅠ」	「キャリアデザインⅠ」 を含む 3 単位以上				
必要修得単位数		上記の科目を含め 26 単位以上	上記の科目を含め 60 単位以上	上記の科目等を含め 100 単位以上			(注 3) 124 単位以上	
入学時からの 累積 GPA 値		—	—	—			1.3 以上	

- 注1 「所属コースの科目群」については、つぎのとおりです。
マネジメントコース：マネジメント群、ICTビジネスコース：ICTビジネス群、
マーケティングコース：マーケティング群、会計・ファイナンスコース：会計・ファイナンス群
- 注2 外国人留学生については、外国人留学生対象の授業科目（「日本事情FⅠ」「日本事情FⅡ」を除く）の修得単位のうち、4 単位までを英語系・外国語系の単位に代えることができます。
- 注3 「職業指導Ⅰ」「職業指導Ⅱ」、教職課程における「各教科の指導法」、「教育の基礎的理解に関する科目、道徳、総合的な学習の時間等の指導法および生徒指導、教育相談等に関する科目および教育実践に関する科目」、「大学が独自に設定する科目」の修得単位は、進級・卒業に必要な単位数・GPAに算入することはできません。

◆GPA制度について◆

本学部では、GPA制度を導入しています。

GPAとは、「成績の評語」に対応する数値として、「GP (Grade Point)」を付与し、履修した授業科目のGPに単位数を乗じた値の総和に対して、同授業科目の単位あたりの平均を算出した値のことです。これは各科目の成績平均値「GPA (Grade Point Average)」を用いて、単位数という学修の量だけでなく、成績評価に基づく質を重んじた学修をしてもらおうという制度です。

GPAは、各学生の指導担当教員が履修指導を行う際の指標として活用するほか、卒業要件にGPA1.3以上であることが含まれています。履修申請した科目のうち不合格科目が多くある場合、GPAを下げることになりますので、計画的に履修登録し、履修放棄などは避けて、履修登録した科目は最後まで受講するか、履修辞退制度を活用することが重要です。

成績の評語とGPの対応表およびGPA計算式は次のとおりです。成績の評語は入学年度により異なります。

【2025年度以降入学生】

成績	評語	GP (グレードポイント)	可否
認定	T		認定
100点～90点	S	4	合格
89点～80点	A	3	
79点～70点	B	2	
69点～60点	C	1	
59点～40点	D	0	不合格
39点～0点	E		
評価不能	*		

【2024年度以前入学生】

成績	評語	GP (グレードポイント)	可否
認定	T		認定
100点～90点	A	4	合格
89点～80点	B	3	
79点～70点	C	2	
69点～60点	D	1	
59点～40点	E	0	不合格
39点～0点	F		
定期試験未受験、 評価不能	*		

$$\text{GPA} = \frac{(4 \times \text{S} [\text{A}] \text{ の修得単位数}) + (3 \times \text{A} [\text{B}] \text{ の修得単位数}) + (2 \times \text{B} [\text{C}] \text{ の修得単位数}) + (1 \times \text{C} [\text{D}] \text{ の修得単位数})}{\text{履修した授業科目の単位数の総和 (不合格科目の単位数含む・履修辞退科目の単位数は含めない)}}$$

※【】内は2024年度以前入学生の評語です。

◆単位修得状況欄の確認方法について◆

単位修得状況欄については【略称】で表記されます。
下表の正式名称を参照し、進級・卒業要件の確認にご活用ください。

成績用科目分類（略称）	成績用科目分類（正式名称）
判定対象	判定対象科目
専門	◆専門◆
必修	《必修》
選択	《選択》
マネジ群	【マネジメント群】
ICT 群	【ICT ビジネス群】
マーケ群	【マーケティング群】
会計群	【会計ファイナンス群】
教養	◆教養◆
教養A群	《英語系、外国語系、日本語系、数理・情報系、スポーツ系》
英、外語	【英語系選択必修科目（英語系資格認定含む）、英語系選択科目、外国語系】
英語選必	〔英語系選択必修科目（英語系資格認定含む）〕
教養B群	《人文科学、社会科学、自然・科学技術、地域志向、共通基礎、教養特別系》
人文系	【人文科学系】
社会系	【社会科学系】
自然系	【自然・科学技術系】
キャリア	《キャリアデザイン系》
キャリア必	【キャリアデザイン必修】
キャリア選	【キャリアデザイン選択】
留学生等	《外国人留学生・帰国学生対象科目》
他学部	《他学部・他学科》
高大接続	《高大接続科目》
対象外	判定対象外科目

■問い合わせ先 教 務 課 072-800-1033/ 072-839-9106

◆進級・卒業要件◆

本学部では進級および卒業するための要件を設けています。
下位年次から計画的に単位を修得しておくことが重要です。

進級・卒業に必要な単位数とGPA

区 分		2 年 次 進級要件	3 年 次 進級要件	4 年 次 進級要件		卒業要件		
専 門 科 目	必修科目	「基礎演習」 「専門基礎演習」	「基礎演習」 「専門基礎演習」 「演習Ⅰ」	「基礎演習」 「専門基礎演習」 「演習Ⅰ」 「演習Ⅱ」を含む 66 単位以上		26 単位		
	選択科目					(注 1) 所属コースの科目群 10 単位以上を含む 60 単位以上		
教 養 科 目	英語系、 外国語系			選択必修科目 4 単位以上を 含む 8 単位以上	(注 2) 12 単位 以上	※ 左記進級要件を含む合計 34 単位以上	(注 2) 12 単位以上	※ 左記卒業要件を含む合計 38 単位以上
	日本語系、 数理・情報系、 スポーツ系							
	人文科学系、 社会科学系、 自然・科学技術系、 地域志向系、共通基 礎系、教養特別系			人文科学系・社会科学系・ 自然・科学技術系 各 2 単位以上を含む 18 単位以上			20 単位以上	
	キャリア デザイン系		「キャリアデザインⅠ」	「キャリアデザインⅠ」 を含む 3 単位以上			3 単位以上	
必要修得単位数		上記の科目を含め 26 単位以上	上記の科目を含め 60 単位以上	上記の科目等を含め 100 単位以上		(注 3) 124 単位以上		
入学時からの 累積 G P A 値		—	—	—		1.3 以上		

■注1 「所属コースの科目群」については、つぎのとおりです。

〔経 営 学 科〕企業経営コース：企業経営群、会計ファイナンスコース：会計ファイナンス群

〔経営情報学科〕マーケティングコース：マーケティング群、ビジネスⅠTコース：ビジネスⅠT群

■注2 外国人留学生については、外国人留学生対象の授業科目（「日本事情FⅠ」「日本事情FⅡ」を除く）の修得単位のうち、4 単位までを英語系・外国語系の単位に代えることができます。

■注3 「職業指導Ⅰ」「職業指導Ⅱ」、教職課程における「各教科の指導法」、「教育の基礎的理解に関する科目、道徳、総合的な学習の時間等の指導法および生徒指導、教育相談等に関する科目および教育実践に関する科目」、「大学が独自に設定する科目」の修得単位数は、進級・卒業に必要な単位数・GPAに算入することはできません。

◆GPA制度について◆

本学部では、GPA制度を導入しています。

GPAとは、「成績の評語」に対応する数値として、「GP (Grade Point)」を付与し、履修した授業科目のGPに単位数を乗じた値の総和に対して、同授業科目の単位あたりの平均を算出した値のことです。これは各科目の成績平均値「GPA (Grade Point Average)」を用いて、単位数という学修の量だけではなく、成績評価に基づく質を重んじた学修をしてもらおうという制度です。

GPAは、各学生の指導担当教員が履修指導を行う際の指標として活用するほか、卒業要件にGPA1.3以上であることが含まれています。履修申請した科目のうち不合格科目が多くある場合、GPAを下げることになりますので、計画的に履修登録し、履修放棄などは避けて、履修登録した科目は最後まで受講するか、履修辞退制度を活用することが重要です。

成績の評語とGPの対応表およびGPA計算式は次のとおりです。

成績	評語	GP (グレードポイント)	合否
認定	T		認定
100点～90点	A	4	合格
89点～80点	B	3	
79点～70点	C	2	
69点～60点	D	1	
59点～40点	E	0	不合格
39点～0点	F		
定期試験未受験、 評価不能	*		

$$GPA = \frac{(4 \times A \text{の修得単位数}) + (3 \times B \text{の修得単位数}) + (2 \times C \text{の修得単位数}) + (1 \times D \text{の修得単位数})}{\text{履修した授業科目の単位数の総和 (不合格科目の単位数含む・履修辞退科目の単位数は含めない)}}$$

◆単位修得状況欄の確認方法について◆

単位修得状況欄については【略称】で表記されます。
下表の正式名称を参照し、進級・卒業要件の確認にご活用ください。

【経営学科】

成績用科目分類（略称）	成績用科目分類（正式名称）
判定対象	判定対象科目
専門	◆専門◆
必修	《必修》
選択	《選択》
企業群	【企業経営群】
会計群	【会計ファイナンス群】
他学部	【他学部・他学科】
教養	◆教養◆
教養A群	《英語系、外国語系、日本語系、数理・情報系、スポーツ系》
英、外語	【英語系選択必修科目（英語系資格認定含む）、英語系選択科目、外国語系】
英語選必	〔英語系選択必修科目（英語系資格認定含む）〕
教養B群	《人文科学、社会科学、自然・科学技術、地域志向、共通基礎、教養特別系》
人文系	【人文科学系】
社会系	【社会科学系】
自然系	【自然・科学技術系】
キャリア	《キャリアデザイン系》
キャリア必	【キャリアデザイン必修】
キャリア選	【キャリアデザイン選択】
留学生等	《外国人留学生・帰国学生対象科目》
他学部	《他学部・他学科》
対象外	判定対象外科目

【経営情報学科】

成績用科目分類（略称）	成績用科目分類（正式名称）
判定対象	判定対象科目
専門	◆専門◆
必修	《必修》
選択	《選択》
マーケティング群	【マーケティング群】
IT 群	【ビジネス IT 群】
他学部	【他学部・他学科】
教養	◆教養◆
教養A群	《英語系、外国語系、日本語系、数理・情報系、スポーツ系》
英、外語	【英語系選択必修科目（英語系資格認定含む）、英語系選択科目、外国語系】
英語選必	〔英語系選択必修科目（英語系資格認定含む）〕
教養B群	《人文科学、社会科学、自然・科学技術、地域志向、共通基礎、教養特別系》
人文系	【人文科学系】
社会系	【社会科学系】
自然系	【自然・科学技術系】
キャリア	《キャリアデザイン系》
キャリア必	【キャリアデザイン必修】
キャリア選	【キャリアデザイン選択】
留学生等	《外国人留学生・帰国学生対象科目》
他学部	《他学部・他学科》
対象外	判定対象外科目

■問い合わせ先 教 務 課 072-800-1033/ 072-839-9106